

ゆきとどいた教育をすすめる北海道連絡会ニュース

NO. 10 2021年11月11日 ゆきとどいた教育をすすめる北海道連絡会

12月の全国・北海道集約集会に向けて最後の取り組みをお願いします。
各地でとりくみをいくつか紹介します。

高教組北見支部が生協前で今シーズン最後の署名行動！

10月17日、今シーズン最後の街頭署名を北見市内の生協前で実施しました。参加者は、道端書記次長と北見支部3分会の4名で、署名は70筆ほど集まりました。



団体への依頼などは、まだ続きますが、支部として大きく取り組むことは今日が最後です。街頭に立っていると、励ましの言葉をかけてくれる人がいる半面、年配の方からイライラをぶつけるような、「こんな事無駄だよ」「国に直接、言えばいいんだ」「教育予算よりも、国会議員がもっと仕事して、無駄遣いや汚職なんかをやめさせるのが先だよ」「バカやチョン（最近聞かない差別的な言葉に、ちょっとビックリ）に国からお金かけることないんだよ」などの言葉も。多様な意見があるんだなあと感じる一方、イライラを私にぶつけられても…と感じることもありました。良い面とちょっとしんどい面の両方あるのが街頭署名の良いところかもしれません。

北見支部は、今年も江口先生が「全分会がかかわること」を目標に、新しいことに取り組みながら、原則的な運動を計画、実行しました。感謝です。
北見支部：渡来和夫

高教組上川支部で自治体訪問と事業所回りの活動

自治体訪問は、上川・愛別・鷹栖・幌加内で、市長と教育長と懇談し、要請書を渡しました。その中で、鷹栖町長が「鷹栖高校の2022年度入学生の、入学準備金を10万から13万円にした。タブレット代の補助を町として行う。これも国や道が出すべきだ。要求書にないね」と言われたり、幌加内では、道外から生徒を受け入れ、1年間、幌加内高校に在籍させるなど、生徒減に対応しているとのこと。

幌加内町長から「議会に請願、今年は出さないの？」と言われたり、愛別町長が、かわったのを知らずに、要請文が前の町長の名前だったりいろいろありましたが、良い話し合いができました。

コロナで9月に予定していた自治体訪問が10月にずれこみ、いろいろ止まっていた行事や、組合の活動再開とも重なり、今年も「夏休みに訪問すればよかった・・・」と思いました。

事業所署名は、40をこえる事業所を回っていて、現在925筆が回収されています。北島さんは、生協前署名のときに、生協店舗に署名のお願いをして昨日回収し、88筆も署名をしてくれました。

今回の生協前署名は10月の土曜日5回で終わりました。12月4日の分会代表者会議まで、職場署名を集めます。
旭川支部：佐藤理河

《今後のスケジュール》

◇12月10日 全国の教育署名集約集会（東京） ◇12月18日 教育全国署名北海道集約集会

※12月10日までに国用の教育全国署名を東京に送るため、1次〆切を11月末にしています。

最終〆切は1月末です。